

9・28～10・4 #StopFANUCNow Global Action Week

9・30パレスチナ連帯！

FANUC全国一斉行動

ファナックFANUCは
ガザGAZA虐殺に加担するな

国際共同行動

●2026年9月30日(水)

●国内: FANUC本社(山梨県)・9事業所(北海道・東京・神奈川・愛知・大阪・岡山・広島など) 要請

●国外: 米国・カナダ・メキシコ・アイルランド・ドイツ・オーストラリア・韓国・台湾など

※ 各行動の集合時間・場所など詳細は決まり次第ホームページで公表。

※ 山梨県現地での移動は自動車が必要。同乗希望の方は事前にご連絡を。



2026年5月14日、FANUC 本社への抗議・申し入れ行動

<FANUC 本社行動(予定)>

- ※11:50 J R甲府駅南口広場・現地集合
 - ▶12:00～13:00 J R甲府駅前街宣行動
 - ▶13:30～14:00 山梨県知事要請行動
 - ▶15:30～16:15 FANUC本社行動
 - ▶16:30～17:00 忍野村役場要請行動
- 現地解散

※ファナック本社所在地

山梨県南都留郡忍野村忍草 3580

◆パレスチナは現在もイスラエル・ネタニヤフ政権、米国・トランプ政権による虐殺と不法入植、占領が行われ、多くの市民の命が奪われ続けています。そして、日本も無関係ではありません。

◆日本政府はイスラエルとの投資協定を結び、経済関係を強化してきました。また、私たちの年金を運用するGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)は、イスラエル国債やイスラエル企業を含む多数の企業の株式を保有しています。こうした官民の動きは、ガザへの攻撃を続けるイスラエルを支えることにつながっています。

◆またイスラエルに加担する日本企業も多く存在します。FANUC(ファナック)株式会社もその1つです。米国・イスラエルの軍産複合体は、日本のロボットメーカーとの提携を急速に進めています。

◆イスラエルのジェノサイド作戦で使用されている155mm砲弾の多くは、FANUC社のロボットが稼働するエルビット・システムズ社(軍需企業)で製造されています。国連特別報告者がこれを指摘し、世界から厳しい批判の声が向けられています。

◆国内外の団体と協議を進め、9月28日(月)～10月4日(日)を『#StopFANUCNow Global Action Week』として、国際的なパレスチナ連帯行動に取り組むことになりました。その一環として、9・30FANUC本社行動を中心に、全国の事業所への抗議・要請行動に取り組めます。皆さん、ご参加ください。

ZENKO(平和と民主主義をめざす全国交歓会) <https://zenko-peace.com/>

大阪市城東区蒲生1-6-21 LAGセンター内/東京都足立区千住関屋町8-8 2階 担当:山川 090-8536-3170